

# 修士論文に向けて



南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻  
M2012MM022 森下 月菜

2013.07.06 発表予定だった分

## シナリオ

- ◉ 前回のおさらい
  - ◉ 質問
  - ◉ インспекションについて
- ◉ 修士論文のテーマ
- ◉ 今後のスケジュール
- ◉ 参考文献

## ● 前回のおさらい: 質問

Q. 「良い」ソフトウェア要求仕様書が作成できると、「良い」ソフトウェアができる ?

A. 「良い」ソフトウェア要求仕様書を作成できれば、  
「良い」ソフトウェアを作成する準備ができる

品質に関して

### 「良い」ソフトウェア要求仕様書 が満たすべき品質特性

正当性

完全性

非曖昧性

検証容易性

無矛盾性

追跡可能性

変更可能性

重要度と安定度による順位付け

### 「良い」ソフトウェア が持つ品質特性

機能性

信頼性

仕様性

効率性

保守性

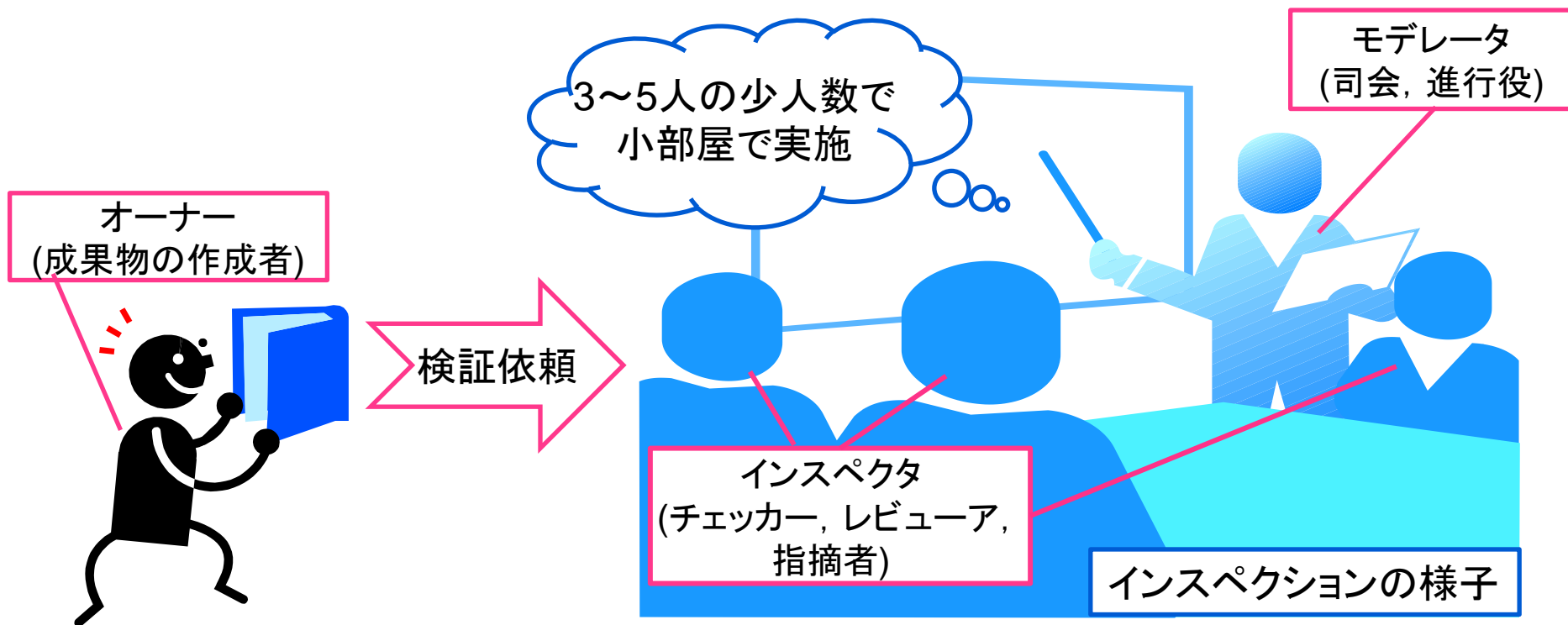
移植性

設計やコード  
に関すること  
が多い

ソフトウェア要求仕様書の品質は  
「良い」ソフトウェアを作成するための大前提

## 前回のおさらい: インスペクションとは

- ソフトウェアインスペクション
  - ソフトウェア開発プロジェクトで作成された成果物(仕様書やプログラムなど)を, 実際に動作させることなく人間の目で見えて検証する作業
  - 通常のテストでは見つけられない欠陥, 具体的にはコーディングルールに対する違反や極めて限定された条件でしか発生しない誤動作に繋がる問題点を検出する



## 修士論文のテーマ

- テーマ
  - 要求の妥当性確認に関する研究
- 背景
  - 要求定義の成果物であるソフトウェア要求仕様書(以下, SRS)は, 要求定義以降の工程で利用される
  - ソフトウェア開発の成功はSRSの品質によって左右される
  - SRSの品質を確保するための要求の検証や妥当性の確認の手法にPBR(Perspective-Based Reading)がある
- 課題
  - PBRを行うための質問セットを作成する指針はない
  - 質問セットの作成は属人的であるため, 人材確保が難しい
- 研究目的, 解決方法
  - PBRの質問セットの作成方法の形式化
  - 属人的要素を削減するためのインスペクションプロセスの定義

## 今後のスケジュール

### 直近

- ~ 7/15 : PBRの文献講読
- 7/15 ~ 7/22 : PBRとの比較のため, 他のレビュー手法の調査
- 7/22 ~ 7/29 : インспекションプロセスの検討

Ad Hoc Reading(AHR),  
Checklist-Based Reading (CBR)  
などを, 出来ればさらっと

### 中間発表まで

- 7月中 : PBRについて理解, 問題点の洗い出し
- 8月上旬 : インспекションプロセスの検討
- 8月下旬 : インспекションプロセスの確定, 予稿執筆開始
- 中間発表後 : 提案プロセスの検証方法の検討~適用, 他

## 参考文献

- Wikipedia, <http://ja.wikipedia.org/wiki/>.
- 中所武司, 情報科学こんせふつ7 ソフトウェア工学 第2版, 朝倉書店, 2004.
- 岡本博幸 他, 要求仕様書の特性に着目した個人レビュー手法の実験的評価, [http://www.juse.or.jp/software/pdf/20\\_spc/6/6\\_report.pdf](http://www.juse.or.jp/software/pdf/20_spc/6/6_report.pdf).
- Forrest Shull, et al., How Perspective-Based Reading Can Improve Requirements Inspections, <https://www.unf.edu/~ncoulter/cen6070/handouts/minorreport/Shull.pdf>, 2000.
- 布川薫, ITpro – ウォークスルーとインスペクション -, <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20070910/281567/?ST=selfup&P=1>, 2007.
- ITmedia, <http://www.itmedia.co.jp/im/articles/1111/07/news208.html>.

修士論文に向けて  
- END -



南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻  
M2012MM022 森下 月菜

2013.07.06 発表予定だった分